

見学・入会時の相互確認項目

安心して利用していただくために

このページの目的

クラブが一方的にご家庭やお子さんを審査するためのものではありません。ご家庭とクラブが、利用条件、安全管理、必要な配慮、役割分担を相互に確認するための項目です。

横浜旭学童クラブでは、見学の際に、施設や活動の様子をご覧いただくだけでなく、利用条件、安全管理、必要な配慮、家庭とクラブの役割分担について確認します。

ご家庭には、クラブの環境や運営方針が希望する利用方法に合っているかをご確認いただきます。クラブ側も、現在の職員体制や施設環境で必要な対応ができるかを確認します。

双方が具体的な情報を共有し、安心して利用を開始できるかを確かめるための相互確認です。

1. クラブの環境と過ごし方

実際の施設をご覧いただき、次の内容を確認します。

- 子どもたちが過ごす部屋や設備
- 児童数と職員体制
- 学習、自由時間、おやつ、外遊び、休息などの一日の流れ
- 学校からクラブまでの移動方法
- 帰宅方法、一人帰り、保護者のお迎え
- 学校休業日の過ごし方
- 利用時間と延長利用
- 利用料金と追加料金

クラブの環境や一日の流れが、お子さんにご家庭の利用希望に合っているかをご確認ください。

2. すべての児童の安全と権利

横浜旭学童クラブでは、申込児童だけでなく、現在利用している児童を含む、すべての児童の安全と権利を大切にします。

- 本人が安全に過ごせる環境を整えられるか
- ほかの児童の安全と活動する権利も守れるか
- 現在の職員体制で必要な見守りや対応ができるか
- 一人への対応によって、ほかの児童への見守りが不足しないか
- 集団での生活や活動に必要な調整ができるか
- 安全上必要なルールを、家庭とクラブで共有できるか

特定の児童だけに我慢を求めるのではなく、同じ場所で過ごす一人ひとりの安全と権利を対等に扱います。

3. お子さんの状態と必要な配慮

安全管理と育成に必要な範囲で、お子さんの日常の様子を伺います。

- 健康状態や体調面で注意すること
- 食物アレルギーや服薬
- 苦手になりやすい場所、音、活動、状況
- 落ち着きやすい方法
- 言葉による説明の理解方法
- 興奮や混乱が生じたときの様子
- 飛び出し、他児への行動、自傷、物の破損など、安全上確認が必要な行動
- これまでに効果のあった対応
- 学校、園、療育機関などで行われている配慮
- 緊急時に必要となる対応

発達障害や特性があることだけで、利用不可にはなりません

診断名、障害の有無、在籍学級、特定の性格や行動傾向だけを理由として、利用の可否を決めることはありません。診断名ではなく、実際にどのような配慮が必要かを確認します。そのうえで、現在の職員体制、施設環境、児童集団の状況において、本人とほかの児童の安全と権利を継続して守れるかを検討します。

必要な情報が見学時点で分からない場合は、学校や関係機関からの情報提供について、ご家庭と相談することがあります。

4. 家庭とクラブの情報共有

安全な利用には、家庭とクラブの正確な情報共有が必要です。

- 利用予定、欠席、帰宅方法
- 体調や健康状態
- 家庭や学校での生活上の変化
- 安全管理に関する行動や出来事
- 子ども同士の問題や事故に関する事実
- 必要な配慮と、効果のあった対応
- 学校や関係機関との連携に必要な事項

安全管理に必要な情報が共有されていない場合、クラブは適切な対応を準備できません。ご家庭だけに情報提供を求めるものではなく、クラブ側も、クラブで確認した子どもの様子や問題について、必要な範囲でご家庭へお伝えします。

5. 問題が起きたときの対応

家庭、子ども、クラブのいずれも、間違えたり、状況を十分に把握できなかったりすることがあります。問題が起きたときは、一方の説明だけで決めつけず、次の手順で対応します。

1. 何が起きたのか、確認できた事実を整理する
2. 関係する人の説明を聞く
3. 事実と、それぞれの考えや受け止めを分ける
4. 修正すべき点があれば認め、訂正する
5. 必要に応じて謝罪、行動の変更、損害の回復を行う
6. 再発を防ぐため、家庭とクラブの対応を確認する
7. 当事者間で解決できない場合は、記録を公的機関へ伝え、その確認と判断を受ける

同じ手順を双方に適用します

この手順は、子どもやご家庭だけに求めるものではありません。クラブの説明や対応に問題があった場合にも、同じ手順を適用します。

6. 家庭とクラブの役割分担

横浜旭学童クラブには、保護者会や保護者役員はありません。職員の雇用・勤務管理、会計、行政対応、行事運営など、クラブの運営実務はクラブ側が担当します。

ただし、役員がないことは、保護者としての役割がなくなるという意味ではありません。

クラブが担うこと	ご家庭にお願いすること
☐ 利用中の育成と見守り ☐ 施設と活動中の安全管理 ☐ 一人ひとりの状態に応じた必要な配慮 ☐ 子どもの様子に関する情報提供 ☐ 事故や問題が起きた場合の事実確認 ☐ 必要に応じた学校や関係機関との連携 ☐ 職員配置、会計、行政対応などの運営実務	☐ 利用予定、欠席、帰宅方法の正確な連絡 ☐ 子どもの健康状態や生活上の変化の共有 ☐ 持ち物や提出物の準備 ☐ 利用時間や送迎方法の確認 ☐ 安全上必要な迎えや受診 ☐ 家庭でなければならない生活上の対応 ☐ 問題発生時の事実確認と再発防止への協力 ☐ 必要に応じた学校や関係機関との連携
役割分担の基本 クラブは、運営と利用中の育成を担います。ご家庭には、家庭でなければならないことをお願いします。	

7. 利用希望の確認

見学後、その場で入会を決める必要はありません。ご家庭で内容をご検討ください。

入会申込みを希望される場合は、次のいずれかの方法でお知らせください。

- 見学時に職員へ伝える
- 見学後、問い合わせフォームから伝える

電話による入会希望の受付は行っていません。

利用意思を確認できたご家庭へ、クラブの公式 LINE をご案内します。公式 LINE は入会手続きだけでなく、入会後もクラブからの連絡に使用します。

利用意思をお伝えいただく前の確認

- ☐ クラブの環境と一日の流れを確認した
- ☐ 利用時間と料金を確認した
- ☐ 家庭とクラブの役割分担を確認した
- ☐ 安全管理に必要な情報を共有することを確認した
- ☐ 問題発生時の対応手順を確認した
- ☐ 入会申込みが先着順ではないことを確認した
- ☐ 見学日や公式 LINE 登録日の早さで優先順位が変わらないことを確認した
- ☐ 上記を確認したうえで、入会申込みを希望する

入会申込みが受入可能人数を超えた場合

入会申込みは先着順ではありません

申込数が受入可能人数を超えた場合は、次の事項を総合的に確認します。

1. すべての児童の安全と権利を確保できること
2. 現在の職員・施設体制で必要な配慮を行えること
3. 家庭とクラブが安全管理に必要な情報を共有できること
4. 問題発生時に共通の対応手順を使用できること
5. 家庭とクラブが必要な役割分担を行えること
6. 放課後の養育を必要とする状況

特定の一項目だけで決定せず、申込内容を総合的に確認します。

見学日、公式 LINE 登録日、申込日の早さによって、選定上の優先順位が変わることはありません。

最後に

診断名ではなく、必要な配慮を確認します

発達障害や特性があることだけで、利用不可にはなりません。

一方で、本人への配慮だけでなく、同じ場所で過ごすすべての児童の安全と権利を守る必要があります。

そのため、子どもの実際の状態、必要な配慮、クラブの受入体制、家庭との情報共有や役割分担を具体的に確認します。

家庭とクラブが事実を共有し、それぞれの役割を担うことによって、すべての子どもが安心して過ごせる放課後をつくれます。